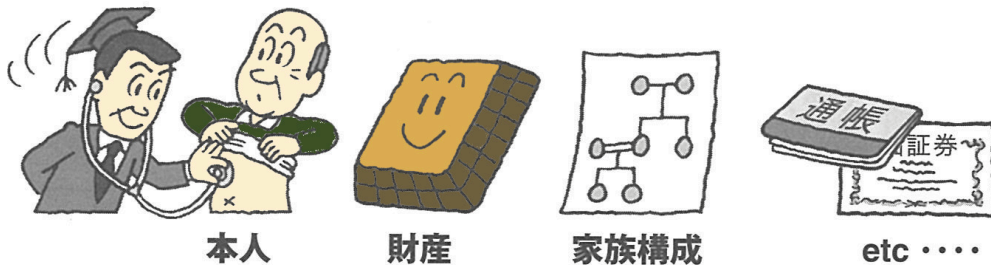


相続対策の第一歩 その②（現状を確認する）

- ① 今日現在の万が一の概算相続税を計算しておく。
- ② 望みをすべて言ってみる。
- ③ 4つの分類から可能な対策を選ぶ。（※44頁の相続対策一覧表を参照）

1. 現状を調べる



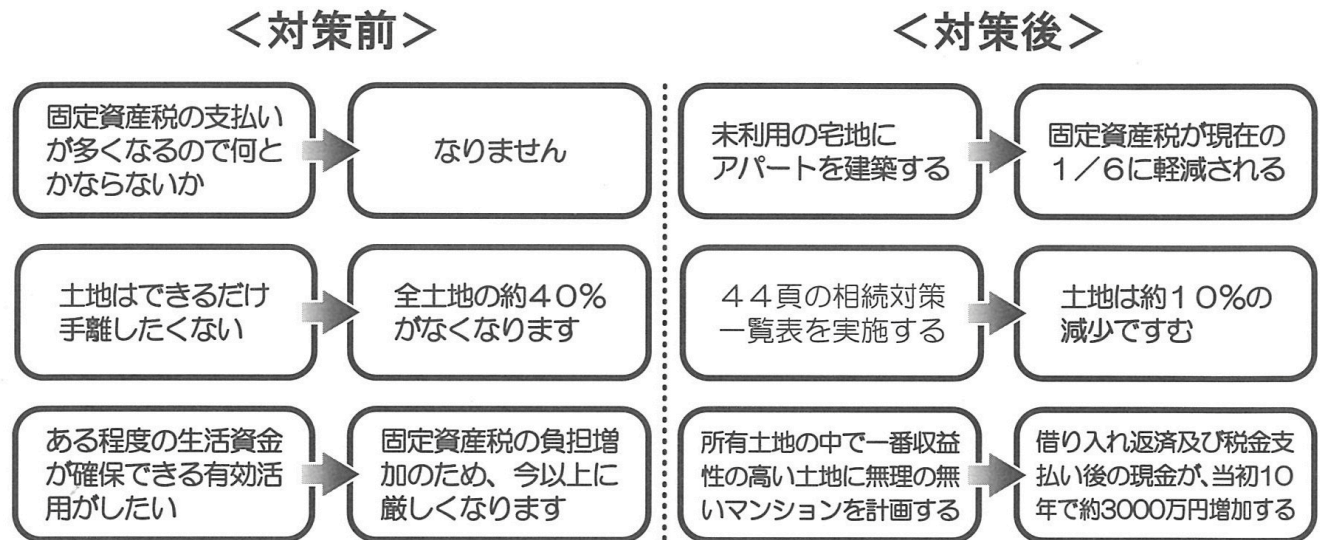
年齢層	健康状態	配偶者	財産構成	希望対策	環境他
30代	良好	有り	広大土地	争族対策	相続人
40代	普通	無し	分散土地	納税資金	親類縁者
50代	不安有り		自宅広大	節税	金融機関
60代			生産緑地	安定収入	専門家
70代			調整地域		
80代			自社株		

まずは、専門家に頼んで、今日現在の万が一の相続税を計算しておきましょう。そのうえで、ご自身の状況をきっかり確認します。上のチェック表で考えると、例えばこんな具合です。

- (1) 本人は60歳代で
- (2) 健康状態は良好
- (3) 奥様も健在で
- (4) 所有財産は土地が大部分を占めており、かつ自宅は500㎡もあり、夫婦2人暮らしである
- (5) 一番の希望は、争いごとが起きないようにすることである
- (6) 現在、昨年建てたアパートの建築を請け負ってくれた会社の営業マンと、「そろそろ相続も考えなくては」といった雑談をしている程度

上記の例を参考に、チェック表に添ってご自身の状況を整理・確認してみてください。

2. 願いの総まとめ



ここで重要なことは、「願い」を全部箇条書きにして言うてみることです。その通り成るか成らないかは後で専門家と相談するとして、自分で勝手に諦めないことです。例えば、こんなセリフをよく耳にします。

「おれはもう歳だから、生命保険は関係ない」

「あの土地は形が悪いから、建物なんて建たないよ」

これでは、自分で自分の耳をふさいでいるようなもので、せっかくのプロの知恵を活かせないということになりかねません。まずは、思っている願いをまとめ、専門家に率直に相談するところから始めましょう。